（1）主題名　公正・公平〔中学校　４－（４)〕　関連項目〔１－（３)〕〔４－（１)〕
（2）ねらい　自分勝手な考え方やグループのような狭い仲間意識にとらわれず，公正・公平で差別や偏見のない集団生活を営もうとする態度を育てる。
（3）資料名　「シカト」（出典：かけがえのない君だから１年　学研）

資料の概要
同じ学年の友人から「Ａさんって，性格，すごく悪いの…。」と内緒話を打ち明けられ，それを信じてＡさんを避けるようになった「わたし」。しかし，ある日，廊下でぶつかったことをきっかけに，あいさつや言葉を交わすようになり，Ａさんの本当の姿が見えてきた。それに伴い，Ａさんに対するイメージが変わってくる。もし，Ａさんをシカトしていたらと思うと，背筋が寒くなる思いがした。

（4）学習指導過程

	学　習　活　動	主な発問と生徒の心の動き	留　意　点
導入	1　「シカト」について想起する。	○「シカト」という言葉から連想することは何だろう。 ・無視をする ・いじめ	○資料に関する導入で，身近な問題として考えやすいように心を開かせる。
展開	2　資料を読んで「わたし」の気持ちを考える。	○Ａさんとぶつかって，その場しのぎの言葉をかけて走って逃げたのは，「わたし」のどんな気持ちからだろう。 ・かかわりたくない ○Ａさんがあいさつを交わしたり「わたし」に話しかけてくれたりするＡさんへの気持ちが，少しずつよい方に変わってきたのはなぜだろう。 ・うわさのような悪い人には見えない ・優しそうな笑顔で，心の広い人に見えた ◎もし友人が「シカトしちゃおうよ。」と言っていたらシカトが広まっていたかも知れないと「わたし」が考えたのはなぜだろう。 ・自分が仲間はずれにされてしまう ・友情を壊したくない	○うわさによるＡさんのイメージをとらえさせる。 ○Ａさんの本当の姿をとらえさせる。 ○本当の友情とはどういうものかを考える。 ○学級集団の中でシカト・いじめがあってもいいのかを考えさせる。
	3　この体験からどんな考えや態度が大切かを考える。	○あなたは，シカトやいじめのない生活をしていくためには，どんな考え方や態度を取っていくことが大切だと思うか。 ・人に左右されず，自分自身で相手を理解する正しい判断をする ・誰に対しても差別せず，温かい心で勇気を持って行動する	○自分に重ね合わせ，日常生活をふりかえさせる。
終末	4　教師の説話をきく。	○自分勝手な考え方あるいは狭い仲間意識で物事を考えていたのでは，楽しい学校生活にならないことを知ってほしい。	○押しつけにならないよう配慮し，実践への励ましとする。

実践報告にみる留意事項

1　資料・題材について

生徒にとっては，一度は聞いたことのある言葉なので，身近な問題として関心の持てる資料であった。

日常生活の発言の中で，「シカト」という言葉を曖昧に受け止めていた生徒もいたので，言葉の重みをきちんと整理するためにも適切な資料であった。

2　指導過程の工夫

導入では，身近な話題，自分の体験から入ったので，関心を持って授業を進めることができた。

展開では，「もし，シカトが学級や学年にあったら，…」といった資料の場面を日常生活の生徒自身に返すことにより，考えに真剣さと深まりを一層与えることができた。

3　発問の工夫

もし友人が「シカトしちゃおうよ。」と言っていたらシカトして，周りにも広がったのはなぜ？という発問のところで，実際には資料の中でその話がなかったので，「実際に広がらなかったのはなぜか？」ととらえる生徒がいた。

4　生徒の反応

「シカトはいけない」と答える生徒は多かったが，「なぜいけないのか」まで踏み込んで答えが書けていなかった。

友達の意見に流されるのではなく自分の判断で行動しようとする生徒が多くいた。

・人の考えだけで納得をしたらいけない。自分の意志で行動することが大切だということがわかった。

・本当の姿をきちんと見ないといけないと思った。

また，友人関係や本当の友情について考える生徒がいた。

・シカトや仲間はずしをしようと言う人は，本当の友だちじゃないなあと思いました。

また，いじめやシカトについて考えた生徒もいた。

・話をしたこともないのに，その人のイメージを勝手につくるのは，いじめやシカトの原因だと思った。

・シカトは見たこともあるし，やったこともあるけど，やって得することは一つもないことを今日の授業でさらに思った。

・私もあの人のことシカトしようと言われたことがあります。ですが私は断りました。私はそれがいいと思ったからです。今日の授業をして本当によかったと思いました。

5　授業後のフォローアップ

帰りの短学活で，シカトされた人の気持ちを再度確認し，フォローした。

また，シカトをしたりいじめをしたりした経験のある生徒の中に，授業中気になった生徒がいたので事後個別に話をした。

（三原市立第三中学校）